

平成 30 年度 第 11 回 菩提寺まちづくり協議会合同役員会 議事録

日時：平成 31 年 2 月 13 日(水) 19:30～21:03

場所：菩提寺まちづくりセンター第 2 会議室

出席者

まち協 木ノ下 栗津 中村 浅井長 田中秀 浅井基 東良 鶴飼 宮田 平地
区 長 永田(イワタニ) 廣嶋(菩提寺) 松本(近江台) 山口(サイド)
自治会 坂田(菩提寺代理区長) 田中雄(北山台自治会副会長) 久郷(三上台自治会長)
上原(みどりの村自治会長) 松山(近江台自治会副会長)
溝口(サイドタウン自治会長)

欠席者 川上 田中論(イワタニ自治会長)

本日は、事務局長欠席のため、代理司会 栗津副会長

市民憲章唱和

会長報告

木ノ下会長

- 2 月 3 日に開催しました認知症講演会ご協力ありがとうございました。
講演会で使用する映像資料を確認したパソコンがコミセンに行っていて他のパソコンでは再生できず準備に手間取り参加していただいた方にはご迷惑をお掛けしました。お詫びいたします。
今回は区・自治会の人権まちづくり懇談会としての開催としなかったため参加人数が少なくなりました。残念に思いますが、仕組みとして参加いただけるよう工夫が必要と感じます。
- 平成 31 年度通常総会を 4 月 21 日 13 時に開催予定をしています。
委員会の皆さんには活動まとめと次年度事業計画策定をお願いします。
区長・自治会長の皆様には総会開催へのご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 先月も申し上げましたが、地域支えあい推進員(生活支援コーディネーター)をまち協に設置して生活支援体制整備事業を 4 月よりスタートいたします。
まちづくり協議会の事業取り組みも変わっていきます。また地域支えあい推進会議として話し合いの場を設けていきます。ご理解ご協力をお願いいたします。
事業目的は下記のようにされています。

【 生活支援体制整備事業目的 】

「高齢者を対象とする生活支援や介護予防、健康づくりの活動をはじめ、生活上の困難を抱える障がい者や子どもなど誰もが住み慣れた地域を安心して暮らすことができるよう、地域住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、支え手・受け手という関係を超えてお互いさま・助け合いの取組みを地域に広く展開していくための体制づくり」

会長

- ・別紙資料にて説明
- ・今後も状況等説明をしていく

副会長

・生活支援コーディネーター 報告は 2 月中ですが人選を進め、協議会八役会議にて承認を求めています。

協議事項及び承認事項

福祉・安全委員会 浅井長委員長

□開催日 平成31年2月12日(火) 19時30分～21時10分

□出席者 福祉安全委員会：川上、立石、竹内、浅井、井上(社協)

すくすく食堂スタッフ：浅井(春)、今泉、藤野、平野、中野、宮川、川端、重松

【すくすく食堂関連の議題】

① 第15回すくすく食堂(1月19日)開催結果報告

- ・事前のスタッフ打合せを1月15日に開催⇒夙を試作して本番に備えた。
- ・食事の内容→「クリームシチュー(ジャガイモの寄付があり活用した。)+パン+林檎」
- ・遊びと学ぶ→2種類の夙(カイト)製作に挑戦
- ・参加者 子ども29名 大人11名 ←インフルエンザの影響でキャンセルが多かった。

② 第16回すくすく食堂(2月16日)開催準備

- ・スタッフ会議を福祉安全委員会と合わせて2月12日に開催⇒レシピの確認
- ・土曜日事業とのコラボ(竹箒づくり、9時～11時)
- ・食後に映画上映+子どもの部屋オープン
- ・食事の内容 →「カレーライス+パイン味フルーチェ(寄付をいただいた)」
- ・参加者 2月11日現在 合計53名 ネット申込み 45名 電話申込み 8名
*13日が締め切り⇒70名程度になる見込み
- ・スタッフ→すくすく食堂スタッフ(18名)+土曜日事業サポーター(8名)

③ 第17回すくすく食堂(3月16日開催)の内容検討

- ・食事の内容→「ちらし寿し+お吸い物+マンゴ味フルーチェ」
- ・遊びと学ぶ→要検討

④ 第18回すくすく食堂(4月20日開催)の内容検討

- ・タケノコ掘り体験(センター～バンブーハウス)←地域活性化委員会へ協力を依頼する。
- ・9時30分にまちづくりセンターに集合→10時スタート→11時30分センター帰着
- ・食事内容は要検討

⑤ 個人、団体からの寄付

- ・スタッフの知人からハウス食品の食材を寄付頂いた。
[カレー、フルーチェ2種類、マーボ豆腐、マグカップシチュー2種類、調味料等]
⇒感謝の意を表す方法として、食材提供者(個人)をすくすく食堂に招待する案が出た。
- ・JA 滋賀からの寄付→お米10kgを受領⇒今回(2月16日)使用

⑥ 次年度の開催計画

- ・夏休み期間中をどうするか。⇒開催するなら各自治会の行事日程を確認すること。
- ・高齢者への呼びかけの是非⇒スタッフと参加者の世代間交流を進める。
(スタッフが積極的に食事の輪に入る+子ども達が調理補助)
- ・学習指導⇒自主学習の呼びかけを強める。ドリル的な教材を準備する。
- ・土曜日事業とのコラボを更に進める⇒例えば、夏休みの学習指導時に昼食を提供する。
- ・次年度の日程案

開催回	開催日	曜日	メニュー ※()は H30 年度	遊びと学ぶ *はボランティア
第 18 回	4 月 20 日	土	(親子どんぶり)	タケノコ掘り体験
第 19 回	5 月 18 日	土	(ピラフ+ポテトサラダ)	* 手品
第 20 回	6 月 15 日	土	(ドライカレー+サラダ)	
第 21 回	7 月 20 日	土	(ロコモコ+サラダ)	
第 22 回	8 月			(夏休み学習指導)⇒要検討
第 23 回	9 月 21 日	土	(ミートスパゲティー)	* 星座表+天体観測
第 24 日	10 月 19 日	土	(ハンバーグ)	* 折り紙
第 25 回	11 月 16 日	土	(ビーフシチュー)	* パチンコヘリコプター製作
第 26 回	12 月 21 日	土	(オムハヤシ)	クリスマスカードづくり
第 27 回	1 月 18 日	土	(クリームシチュー)	凧の製作
第 28 回	2 月 15 日	土	(カレーライス)	土曜日事業コラボ
第 29 回	3 月 21 日	土	(ちらし寿し)	スライムづくり

⑦ 子ども食堂「大交流会」への参加要請

- ・主 催 者 滋賀県社会福祉協議会(滋賀の縁創造実践センター)
- ・開催日時 3 月 10 日(日) 14 時～18 時
- ・開催場所 県立長寿社会福祉センター2階(草津市笠山)
- ・参加者 2 月 16 日に最終調整(浅井&川上は参加予定)

【福祉安全委員会の議題】

① 防災士の資格取得支援(報告)

- ・申請した6名が合格(別枠で近江台から中学生が受講し合格)
- ・最寄りバス停から大津市(県庁)までの交通費2日分を支給

② 湖南市防災士研修会の参加報告・・・(別紙資料 参照)

- ・開催日時 1 月 27 日(日) 10 時～12 時 (代表5名参加)
- ・開催場所 サンライフ甲西2階大ホール
- ・講演者 草 貴子氏(東日本大震災災害伝承語り部、仙台市泉区市名坂東町内会長)
- ・講演内容 町内会の立上げと取組み、地震発生時の対応、災害伝承 10 年プロジェクト、

※「今後、防災士のネットワークを検討する。そのための準備会を発足させる。」

と市から説明があった。

(2/23 防災研修・・・副会長・委員長 参加

③ 認知症(啓発)講演会開催結果報告

- ・2月3日(日)10時～12時 (菩提寺まちづくりセンター)
- ・テーマ “認知症の母を介護して感じる人生の豊かさ” ～忘れても心は生きてる認知症～
- ・講 師 公益社団法人認知症の人と家族の会 滋賀県支部 小宮俊昭様

・参加者 51名

〈参加者が少なかった要因〉

- 人権まちづくり懇談会(人権啓発)を切り離れたこと。
- 各区や市、社協でも同じような取り組みがされている(予定されている)。
- 若い人には興味のないテーマ(親の介護)であった。
- 開催時期が役員任期の終わりに近く、積極的な参加意欲が湧かなかった。

④ 次年度の活動として(新たな取り組み)

- ・避難所(まちセン)運営のマニュアルづくり→防災士の知恵をお借りして
- ・菩提寺学区(北含む)の防災組織のネットワークづくり
- ・生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)を核にした地域の福祉ネットワークづくり

⑤ 次回の委員会(すくすく食堂スタッフ会議と兼ねる) ⇒ 3月11日(月)19時30分～

文化芸術委員会

田中委員長

日時：平成31年1月26日(土) 菩提寺山の小径整備(雪のため中止)

文化芸術委員会 11:00～12:30

参加者 脇坂良弘 田中秀明 副島京子

1. ◎整備作業

菩提寺山整備作業 雪のため中止とした。

2. ◎定例会 11:00～12:30 まちづくりセンター事務室

1) 合同役員会の報告

- ① 今年度の締めくくりとして活動まとめをしてください。
- ② 次年度より地域で支える福祉活動を支えるため、各まち協単位で生活支援コーディネーターまたはまちづくり推進員の設置をすることで、協議を進めている。

2). 歴史文化資料室関係

- ① 次年度の企画展、歴史講座の日程は2月5日の歴史文化資料室運営協議会で検討する。
企画展テーマ 及び予算案
- ② 歴史講座 次回3月に行う講座は館外講座として菩提寺の史跡を歩いて観て回る。
コースは次回2月5日の運営協議会で決定する。
雨天の場合 センターの資料室で講演をしてもらう。
日程は3月23日(土) 13:00～15:30
※講師・学芸員 氏丸様

3) 新型交付金事業(湖南省地域活性化先進モデル事業交付金事業)

- ① 昨年度作成した「諸先輩に聞く、昭和前半の菩提寺」の続編の作成。
1月15日に印刷完了
市教育委員会生涯学習課 50部 菩提寺小学校、菩提寺北小学校、甲西北中学に各40部
関係者、協力者に60部 配布済
菩提寺各自治会 5部 湖南省まち協 各5部 配布予定
菩提寺まちづくりセンター30部

4). 土曜日事業

- ① 12月26日(水) 書初め(冬休み書道教室) 作品を新年1月7日から1月末までまちづく

りセンター内作品を展示中

② 2月16日(土) 竹細工 竹ほうきづくり

5). その他

① 2019年1月1日に「初日の出ハイキングを実施。8名参加

② 文化芸術委員会としての次年度の方針、計画案を作成する。

6) 今後の予定

① 2月5日(火) 14:00~16:30 歴史文化資料室運営協議会

② 2月23日(土) 9:00~10:30 歴史の小径整備作業

できるだけ参加をお願いしたい。

11:00~12:30 文化芸術委員会定例会

地域活性化委員会報告

浅井基委員長

日時：平成31年1月16日(水) 19:30 ~ 20:50

場所：菩提寺まちづくりセンター事務室

出席者：浅井基義、井上光生、青山憲一、福島 昭、保田芳利

1) 合同役員会報告

合同役員会の議事録を参照してください。

2) 土曜日事業の協力

2月16日(土) 9:00~まちづくりセンターで竹箒を作る。

2月2日(土) 午後竹箒用の竹を野洲川河川敷で収集する。

※ 災害時のこともあるため、伐採等する場合は「湖南省 土木建設課」へ声かけすること。

三上台奥の竹林・・・菩提寺区が管理している。→伐採は、廣嶋区長様へ声掛けすること。

3) ヒラタケ、シイタケの栽培

→ ヒラタケの柳の木の伐採は2月2日(土) 9時にまちづくりセンターに集合して、9時30分から大山川で伐採する。

永田区長さんに協力をお願いする。

シイタケは竹林内のコナラを切る。

それぞれの菌は購入して準備する。

4) 竹林整備

3月21日(木・祝日)~24日(日) チップ機を稼働する。

伐採した木は欲しい人がおれば持って行ってもらうよう案内を回す。

5) 来年度の事業計画作成検討。

基本的には今年度と同様の事業を継続実施する。

今年度と同じメンバー、プラスアルファーで委員会を構成する。

予算(案)は浅井委員長が再作成を行い委員会メンバーにメールで送付する。

6) その他

・傷害保険を委員会用に掛けるか検討する。

・竹切用鋸を購入する。

次回日程

2月19日(水) 19時30分~

子ども育成委員会報告 東良委員長

日時：平成31年2月4日（月）20:00～22:00

場所：菩提寺まちづくりセンター

出席者：東良喜代一、栗津寛三、鵜飼八千子、平塚和行、正岡由美子、大黒直子、柴田栄一、松本高治

1、 H31,1/27日（日）第7回すくすく広場について報告及び反省点。

報告（残予算116,330円に対して、116,479円で決着）

参加者数 子ども45名、保護者36名、計81名

スタッフ まち協役員4名、子ども育成委員6名、民・児委員14名、サポーター3名、計27名
合計108名

反省 地域のお年寄りに対する案内の文言をチラシに入れては

おやつサービスの時に参加者が錯綜した

今回は、北中の生徒にサポーター参加を依頼

実施時期は適当か（インフルエンザ、積雪の問題）

2、 本年度の事業についての反省点

1) 安全安心できるまちづくりの推進。

夏休み夜間巡回、愛のひと声あいさつ運動。

2) 子どもたちと地域の大人との親睦を図る。

ハリキリンピック、すくすく広場、土曜日事業（ペットボトルロケット大会）

3) 市民会議との連携。

反省 概ね全般に渡り良好であったが、ハリキリンピックの子どもの部屋と、多目的ホールの出入り口付近の混雑の解消。

ペットロケット大会の熱中症対策は一考するべき。

3、 次年度の事業計画について

テーマ・まち協ならでの事業推進

引き続き、3月委員会にて検討

4、 委員会人事。

委員長 東良喜代一・副委員長 鵜飼八千子、共に次年度任期期間中につき、続投。

5、 その他 市民会議総会(5月9日)・・・東良委員長出席

6、 次回委員会 3/4（月） 懇親会 3/9（土）やくもにて

土曜日事業 永田リーダー

別紙参照・・・「すくすく食堂」とのコラボは担当者等との協議を行い決定する。

会計報告 中村会計

別紙

○自治会より

◆北山台

センター入り口前の階段が高齢者にはきつい。

スロープをつけてほしい。

会長回答 会長を引き受けた際にご意見を頂き市の方とも話したが、無理である。対策として、駐車場から裏口に行けるよう道をつけた。遠回りだが、活用してほしい。

◆三上台

- ・今年は防災関係の取り組みができなかった。次年度は防災関係に力を入れたい。
- ・相談窓口を「また協」にほしい。
- ・地域の防災士は、高齢なため、若い年代に移していきたい。

◆みどりの村

- ・猫の問題

※近江台にも猫の問題がある。

◆近江台

- ・トランシーバーを購入した。 →結果、よかった。

◆サイドタウン

自治会館の活性化を図るために

- ・ボランティアの協力を得て解放している。楽しく過ごせるように幾つかのゲーム設備を準備した。
(卓球台・カラオケボックスなど)

◆菩提寺

空き家・猫対策

サイドタウン・・・持ち主が分からない家が課題。

◆イワタニランド(欠席)

○その他

副会長

- ・協議会会則の変更を検討中(現状に合う形に直していく) →次回の合同役員会に示す。

例) 八役会議の開催、議長の議決権、合同役員会の議長の設定、慶弔規定 etc

○監事

- ① どの委員会、土曜日事業とにもよい活動で、委員長の苦勞(準備から後始末までの)が分かる。

- ・課題として、委員会の委員の固定化、人数の少ない委員会が、気になる。

まちづくり協議会を動かすのは、委員会。委員会のメンバーが増えていくように力を合わせていきたい。若い人や女性も大歓迎である。各自治会へお願いする。

- ② 会計予算が少しあるので残予算を有効に使ってほしい。

次回合同役員会 平成 31 年 3 月 13 日(水) 19:30～

承認署名

木下良三